

沖縄工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	琉球諸語入門
科目基礎情報					
科目番号	6029		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	情報工学コース		対象学年	専1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	8週目に「はじめての象棋―沖縄の伝統将棋―」(東洋企画)を使用。その他、プリントで補充する。				
担当教員	崎原 正志				
到達目標					
①Swadeshの基礎語彙100語をしまくとぅばで発音でき、その意味が言える。②しまくとぅばで簡単な自己紹介(8~10文)が口頭でできる。③しまくとぅばの音を文字(ひらがな・カタカナ・漢字)で表記することができる。④しまくとぅばの名詞述語・動詞述語・形容詞述語文について理解し、作文し、口頭で発音できる。⑤しまくとぅばで歌が歌える(1曲)。					
ルーブリック					
	達成度目標の評価方法	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限必要な到達レベル(可)	
Swadeshの基礎語彙100語をしまくとぅばで発音でき、その意味が言える。	全10回の小テスト(単語テスト)の実施	100語全てをしまくとぅばで発音でき、その意味が言える。	70語以上をしまくとぅばで発音でき、その意味が言える。	50語以上をしまくとぅばで発音でき、その意味が言える。	
しまくとぅばで簡単な自己紹介(8~10文)が口頭でできる。	第7週目の中間課題の提出および第15週目の最終課題口頭発表の実施	授業で習った表現を土台にし、しまくとぅばでの自己紹介が10文以上用いて口頭でできる。授業で習った表現以外を用いることができる。	授業で習った表現を土台にし、しまくとぅばでの自己紹介が8~10文程度用いて口頭でできる。	授業で習った表現を土台にし、しまくとぅばでの自己紹介が5文程度用いて口頭でできる。	
しまくとぅばの音を文字(ひらがな・カタカナ・漢字)で表記することができる。	毎授業の最後に提出する課題の提出	しまくとぅばの音をひらがな・カタカナ・漢字を交え、分かち書きし表記しつつ、漢字にルビを振ることができる。	しまくとぅばの音をひらがなとカタカナを交え、分かち書きしつつ表記できる。	しまくとぅばの音をひらがなで表記することができる。	
しまくとぅばの名詞述語・動詞述語・形容詞述語文について理解し、作文し、口頭で発音できる。	毎授業の最後に提出する課題の提出および第15週目の最終課題口頭発表の実施	名詞述語・動詞述語・形容詞述語文全てを理解し、作文でき、発音でき、連体形も同様に運用できる。	名詞述語・動詞述語・形容詞述語文全てを理解し、作文でき、発音できる。	名詞述語・動詞述語文・形容詞述語文の違いを理解できる。	
しまくとぅばで歌が歌える(1曲)	第15週目の最終課題口頭発表の実施	既存のJ-Popソング1曲をしまくとぅばに訳し、それをしまくとぅばで歌える。	しまくとぅばに訳された既存のJ-Popソング1曲を歌える。	しまくとぅばに訳された既存のJ-Popソング1曲の一番(Aメロとサビ)を歌える。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	この授業では、琉球列島で伝統的に話されて来た琉球諸語(しまくとぅば、とも言う。場面に応じて、両方を使用)の次に挙げる5点について学習する。				
授業の進め方・方法	①琉球「諸」語の数・種類・使用地域、②琉球諸語がどの程度危機的な状況にあるか、③個々の言語の下位方言の数・種類・使用地域、④伝統集落と屋取集落の違いとそれらの方言の差異、⑤琉球諸語の内、沖縄島で話される沖縄語(うちなーぐち、とも言う。場面に応じて、両方を使用)の語彙を学び、文にし、それらを読んだり、書いたり、話したりすることをアクティビティを通して学ぶ。 なお、授業に毎回参加し、アクティビティに積極的に参加して、課題をその都度提出することが、評価に直接つながるので、きちんと出席することが重要。				
注意点	『琉球語音声データベース』や『沖縄語辞典(1963)』にオンラインでアクセス可能なため、各自のノートPCを持参することが望ましい。また、評価の仕方は原則変更はないが、上記の目標・ルーブリックや授業概要、下記の授業計画は、授業の進行状況によって、内容を変更する場合がある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	成績評価と授業の進め方について説明を行い、琉球諸語とは何か、本授業で扱う対象と内容について解説する。	語彙40語(Swadesh10語・カレンダー4月30語)を学習する。	
		2週	はじめまして。私は〇〇です。自己紹介、小テスト①40語(Swadesh10語・カレンダー4月30語)	自己紹介表現と語彙40語(Swadesh9語・カレンダー5月31語)を学習する。	
		3週	琉球諸語とは?、元気か?・お元気ですか?(あいさつ)、小テスト②40語(Swadesh9語・カレンダー5月31語)	あいさつ表現と語彙39語(Swadesh9語・カレンダー6月30語)を学習する。	
		4週	国頭語とは?、三母音の法則、どこに行くの?(どこ?の文)、小テスト③39語(Swadesh9語・カレンダー6月30語)	マー(どこ)を使った疑問文と語彙40語(Swadesh9語・カレンダー7月31語)を学習する。	
		5週	その他の音変化の法則と分かち書き、小テスト④40語(Swadesh9語・カレンダー7月31語)	さまざまな音韻変化と分かち書きの学習、およびしまくとぅばで手紙を書く。	
		6週	単語の調べ方、毎日、本を読む(動詞述語文)、中間課題(しまくとぅばレター)提出	動詞述語文と語彙40語(Swadesh9語・カレンダー8月31語)を学習する。最終課題作成の手順と説明。	
		7週	講義「うちなーぐち以外の琉球諸語と危機的状況について」、小テスト⑤40語(Swadesh9語・カレンダー8月31語)	うちなーぐち以外の琉球諸語と危機的状況について学習する。	
		8週	はじめてのチュンジー(沖縄の伝統将棋)	チュンジーの遊び方と基礎的語彙を学ぶ。	
	2ndQ	9週	早く読め!読みなさい!(命令形の文)、小テスト⑥約39語(Swadesh9語・チュンジー用語約30)	命令形の文と語彙39語(Swadesh9語・カレンダー9月30語)	

	10週	本を読んだ・読んでいる（動詞の過去と継続）、小テストの39語（Swadesh9語・カレンダー9月30語）	動詞の過去と継続、および語彙40語（Swadesh9語・カレンダー10月31語）を学習する。
	11週	動詞の連体形と形容詞、小テスト⑧40語（Swadesh9語・カレンダー10月31語）	動詞の連体形と形容詞の文、および語彙40語（Swadesh9語・カレンダー1月31語）を学習する。
	12週	動詞・形容詞・～だの活用（復習）、課題作成、小テスト⑨40語（Swadesh9語・カレンダー1月31語）	復習、課題作成および語彙37語（Swadesh9語・カレンダー2月28語）を学習する。
	13週	課題作成、小テスト⑩37語（Swadesh9語・カレンダー2月28語）	課題作成
	14週	課題口頭発表練習日・予備日	最終課題「J-Popをしまくとぅばで」の発表練習
	15週	課題口頭発表	最終課題「J-Popをしまくとぅばで」をプレゼンする
	16週	課題提出	最終課題「J-Popをしまくとぅばで」を仕上げ、提出

評価割合

	小テスト(語彙・全10回)	ワークシート(毎授業ごと)	中間課題	最終課題(プレゼン)	最終課題(提出)	合計
総合評価割合	30	20	10	10	30	100
基礎的能力	25	20	10	5	10	70
専門的能力	0	0	0	0	10	10
分野横断的能力	5	0	0	5	10	20